

EMS 環境活動報告

第23期 第1回目

【 2022年12月 ~ 2023年2月 】

環境方針

1. 組織の概要
2. 3ヶ月運用期間の目標とその実績
3. 環境活動計画と取組結果の評価
4. 代表者による全体評価と見直しの結果
5. 2023年度以降の目標と取組内容
6. 環境関連法規等の遵守状況確認・評価、違反・訴訟等の有無

株式会社エム・ビー・アイ

発行日 : 2023年 3月22日

環 境 方 針

<基本方針>

- 1) 環境への取組みを経営の最重要課題の一つに位置付け、環境活動を推進する。
- 2) 環境内部監査の実施や環境マネジメントシステムのレビューにより、環境経営の継続的な改善を図る。
- 3) 事業活動における目標を設定して、環境活動を推進する。
- 4) 環境に関する法規制及び組織が受け入れに同意した顧客要求等を遵守すると共に自主管理基準を遵守し、環境保全に努める。

<行動指針>

基本を具現化するために、環境マネジメントシステムを構築し、継続的な環境負荷の低減に取り組みます。

環境への取り組みとして、特に次の事項に取り組みます。

- ・電気使用量の削減
- ・廃棄物の分別、削減、リサイクル
- ・グリーン購入推進
- ・環境マインドを持つ社員の育成

環境に関する法律・規則・協定を遵守します。

環境マネジメントシステムの内容を全社員に周知徹底し、環境保全に対する意識の向上に努めます。

環境基本方針及び行動指針並びに環境活動結果は、ホームページで一般に公開します。

2011年12月1日
株式会社エム・ビー・アイ
代表取締役 井上 清

1. 組織の概要

- ① 会社名 : 株式会社 エム・ビー・アイ
② 代表者 : 代表取締役 井上 清
③ 設 立 : 2001年4月20日
④ 資本金 : 4,000万円
⑤ 事業内容 : データセンター等に関わるファシリティの設計、施工及び請負
ネットワークシステム (Voiceを含む) の設計、構築及び保守管理
- ⑥ 本社所在地 : 東京都中央区日本橋浜町2-62-6
TEL 03-5643-5271 FAX 03-3666-0540
- ⑦ 審査対象事業所
- ・本 社 : 東京都中央区日本橋浜町2-62-6
 - ・関西事業所 : 大阪市西区西本町1-9-13
 - ・九州事業所 : 福岡市博多区博多駅前3-27-25
 - ・中部事業所 : 名古屋市中区丸の内2-14-4
- ⑧ 事業場の規模 :
総延面積 446.71 m² (135.13 坪) / 従業員数 54名 (2023.3.1)
(a) 登録範囲 本社及び各事業所

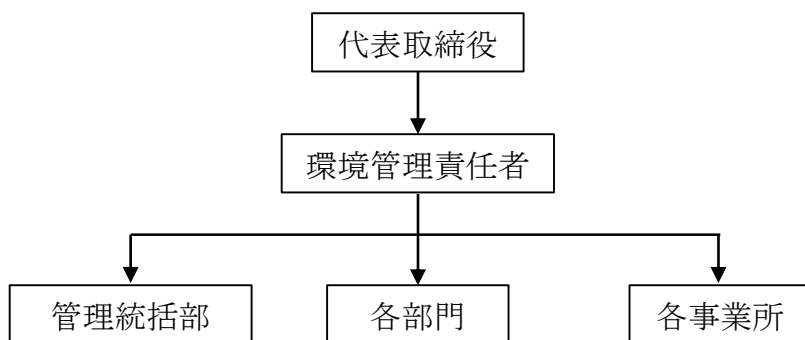
売上	単位	2019年度 (19期)	2020年度 (20期)	2021年度 (21期)	2022年度 (22期)
売上高	百万円	2,151	1,882	2,038	1,814
従業員数	名	61	57	56	54
床面積	m ²	803.49	770.28	446.71	446.71

2020/4 中部事業所移転 (面積縮小)
2021/7 本社事務所1707化 (面積縮小)

⑨ 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

(代表者)	代表取締役	井 上	清
(環境管理責任者)	業務部長	田 中	正 秋 (TEL 03-5643-5271)
(事務局)	総務部長	廣 瀬	芳 則 (TEL 03-5643-5271)

⑩ 環境経営システムの運用組織



⑪ 対象範囲

- ・対象事業所は東京、関西、九州、中部の各事業所とする

2. 3ヶ月運用期間の目標とその実績

項目		基準期間 2021年12月～2022年2月	目標 (基準期間の1%削減)	実績 2022年12月～2023年2月	達成状況
1. CO2排出量削減	電気使用量 (KWh)	25,157 KWh	24,905 KWh	27,380 KWh (9.9%増)	×
2. コピー用紙削減	購入量 (Kg)	129.0 Kg	127.7 Kg	150.5 Kg (17.8%増)	×
3. 廃棄物排出量削減	排出量 (Kg)	66.7 Kg	66.0 Kg	67.0 Kg (1.5%増)	×
4. グリーン購入推進	購入割合 (%)	43.6 %	44.0 %	40.0 % (未達成)	×
5. 環境マインドを持つ社員の養成	—	—	外部セミナー等への参加	—	—

* 達成状況の凡例 (○：目標達成 ×：目標未達成 △：調査継続中)

【注記】

- * CO2排出量（電気使用量）は、本社及び各事業所の合計値です。
- * ガソリンは使用していないため、目標設定しておりません。
- * 化学物質は使用していないため、目標設定しておりません。
- * 水の使用は僅かであり、かつテナントとしては使用量の把握ができないため、目標設定しておりません。
- * 現場作業はお客様先での作業となり、電気・水道は貸与のため、目標設定しておりません。

《 2023年度の電気使用量について》

3ヶ月の運用期間（2022年12月～2023年2月）は、九州および関西事業所で減となったが、全社合計で9.9%の増となった。

総合	第1Q	基準 2021年12月～2022年2月	目標 (基準期間の1%減)	実績 2022年12月～2023年2月
電気使用量 (kWh)		25,157 kWh	24,905 kWh	27,380 kWh
率 (%)		—	1.0%減	9.9%増

内訳

■ 本社				
電気使用量 (kWh)		20,819 kWh	20,611 kWh	23,324 kWh
率 (%)		—	1.0%減	13.2%増
■ 九州事業所				
電気使用量 (kWh)		2,259 kWh	2,236 kWh	1,971 kWh
率 (%)		—	1.0%減	11.9%減
■ 関西事業所				
電気使用量 (kWh)		1,317 kWh	1,304 kWh	1,148 kWh
率 (%)		—	1.0%減	12.0%減
■ 中部事業所				
電気使用量 (kWh)		762 kWh	754 kWh	937 kWh
率 (%)		—	1.0%減	24.3%増

3. 環境活動計画と取組結果の評価



環境活動計画 (1/4)	取組結果の評価 (2022年12月 ～ 2023年2月)	問題・今後の方向等
<p>1. CO2 排出量削減 (電気)</p> <p>①使用していない部屋の消灯</p> <p>②冷暖房温度の適正化</p> <p>③残業時間の削減</p> <p>④会議等における意識付け</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>△</p> <p>△</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会議室などの消灯は実施されている。 ・窓の開閉や運転のON, OFF、風量調節などによる温度調整を実施している。 ・全体の傾向として、残業時間は減少傾向にあるが、エコ活動の取り組みとしての意識付けは不足。 ・毎月1回の担当者会議を実施している。
<p>2. 購入用紙の削減</p> <p>①会議資料の映像化</p> <p>②ミスコピーの削減</p> <p>③不要書類の出力廃止</p> <p>④会議等における意識付け</p>	<p>○</p> <p>×</p> <p>×</p> <p>△</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーレスに努めている。 ・実績把握していない。 ・実績把握していない。 ・毎月1回の担当者会議を実施している。

環境活動計画（1/4）	取組結果の評価 （2022年12月 ～ 2023年2月）	問題・今後の方向等
<p>3. 廃棄物排出量削減</p> <p>①会議等における意識付け</p> <p>②文書リサイクルサービス活用</p>	<p>△</p> <p>○</p>	<p>・毎月1回の担当者会議を実施している。</p> <p>・リサイクルサービスの導入によりシュレッダーくずの軽減につながっている。</p>
<p>4. グリーン購入推進</p> <p>①注文時エコ商品のチェック</p> <p>②会議等における意識付け</p>	<p>○</p> <p>△</p>	<p>・エコ商品のチェックを継続実施。</p> <p>・毎月1回の担当者会議を実施している。</p>

* 評価の凡例（○：良好 △：不十分 ×：未実施）

4. 代表者による全体評価と見直しの結果

マネジメントレビュー議事録

1. 実施日時： 2023年 3月 16日	
2. 検討・決定事項〔管理責任者記入〕	
	田中 正秋 
検討事項	検討内容・決定事項
①内・外部監査の結果	なし
②顧客からのフィードバック (顧客ニーズ、クレーム状況等)	なし
③活動計画の実施状況及び結果報告書の適合性	第1Qの結果報告を受け関係者で協議を行い、更に目標に向け全員で目標達成に努力することを申し合わせた
④予防処置及び是正処置の状況	特段処置なし
⑤前回迄のマネジメント・レビュー の結果に対するフォローアップ	フォローアップなし
⑥環境マネジメントシステムに 影響を及ぼす可能性のある変更	なし
⑦改善のための提案	産業廃棄物の排出を実施 (2023/3)
⑧環境方針・行動指針及び環境活動目標の適切性	適切性の変更なし
⑨環境マネジメントシステムの文書の適切性	適切性の変更なし
3. 経営者総評	
①環境マネジメントシステム及び活動計画実施状況の有効性の改善 掲げた目標に努力することが必要と認識合わせを行った	
②顧客要求事項及び法令等への適合状況に必要なシステムの改善 特になし	
③資源の必要性 特になし	
日付：2023/3/17 記名・押印または署名： 井上 清 	

5. 2023年度以降の目標と取組内容

環境目標	短期目標	中期目標	
	<2023 年度 (23期) > 2022年12月～2023年11月	<2024年度 (24期) > 2023年12月～2024年11月	<2025年度 (25期) > 2024年12月～2025年11月
1. CO2 排出量削減 電力使用量(kwh)	【2022年度累計 △1%】 98,183 kwh	【→ △1%】 97,201 kwh	【→ △1%】 96,228 kwh
2. コピー用紙使用量削減 用紙購入量(kg)	【2022年度累計 △1%】 574.7 kg	【→ △1%】 569.0 kg	【→ △1%】 563.3 kg
3. 廃棄物排出量削減 廃棄物排出量(kg)	【2022年度累計 △1%】 240.3 kg	【→ △1%】 237.9 kg	【→ △1%】 235.5 kg
4. グリーン購入推進 グリーン用品／購入総数(%)	【2022年度累計 1%up】 43.6 %	【→ 1%up】 44.0 %	【→ 1%up】 44.4 %
5. 環境マインドを持つ 社員の養成	・外部セミナー参加	・外部セミナー参加	・外部セミナー参加

6. 環境関連法規等の遵守状況確認・評価、違反・訴訟等の有無

当社に適用される主な環境関連法規と遵守状況は下記のとおりです。
関係当局よりの違反等の指摘・訴訟は過去2年間ありません。

	法律・条例・その他 名称	適用事項	遵守評価	違反・訴訟等の有無
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物の適正処理 産業廃棄物収集運搬処分業者との契約 マニフェストの管理	遵守	なし
2	東京都廃棄物条例	産業廃棄物を生じる場合は、産業廃棄物 管理責任者を選任	遵守	なし
3	中央区廃棄物の発生抑制、再利用による 減量及び適正処理に関する条例	事業系一般廃棄物の適正処理 事業系一般廃棄物の減量推進	遵守	なし
4	資源の有効な利用の促進に関する法律 (リサイクル法)	製品の長期間使用を促進 再生資源化・再生部品化の促進	遵守	なし
5	特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法)	特定家庭用機器廃棄物の排出抑制 特定家庭用機器廃棄物の適正排出	遵守	なし